

みをつくし文化センターにも広がっているね！ ユニバーサルデザイン

みをつくし文化センター特別号



ユニバーサルデザイン(UD)ってなあに？

ユニバーサルデザインは、すべての人のためのデザイン（設計・計画）という意味です。

バリアフリーをさらに進め、ある特定の人のためでなく、能力や年齢・国籍・性別などの違いをこえ、すべての人が利用しやすいように、まちづくり・ものづくり・環境づくりなどを行っていかこうとする考え方です。みをつくし文化センターをつくる時も、より多くの方が使いやすい施設となるように、ユニバーサルデザインの考えが取り入れられました。

◆ みをつくし文化センターには、ユニバーサルデザインがいっぱいです！！



みをつくし文化センター(北区細江町気賀369)

平成20年7月に開館した、みをつくし文化センターには、様々なところにユニバーサルデザインが取り入れられています。

ここで紹介するもの以外にも、まだまだたくさんのユニバーサルデザインがありますので、お越しの際には、ぜひ探してみてください。

○ おもいやい駐車場



妊婦さんや、小さな子ども連れの人、病気のために介助が必要な人などが、安全に車を乗り降りしていただくための広いスペースの駐車場です。

○ みて、聞いて、さわってわかる案内板(玄関)



手で触っても館内の様子を知ることができるように、点字と触知図が付いています。また、音声による誘導装置も付いています。

※音声誘導には、専用のカード型発信機が必要です。

○ ピクトグラム(1階・多機能トイレほか)



ピクトグラム(絵文字)による案内があれば、小さな子どもや外国人にも伝わりやすくなります。また、遠くからでも、はっきり見え、わかりやすいのは、誰にでも便利ですね。

○ 段差の小さい階段・二段の手すり(各階)



段差を小さくすることと、手すりを上下二段に付けることで、背の高さに関係なく、誰でも安全に移動できます。

◆ みんなが利用しやすい施設づくりをしています!!

○ みんなが使いやすいトイレ

(1階・多機能トイレほか)

車いす使用者や子ども連れの人など、いろいろな人が使うトイレにはたくさんの工夫がされています。

大人の介護もできる折りたたみ式シートや、着替等に使うフィッティングボード、オストメイトに対応した流し台を備えたトイレもあります。

<オストメイトとは?>

病気のために人工肛門・人工膀胱等を使用し、体内に排泄物をためておけない人のことをいいます。

多機能トイレの全体図(1階)



折りたたみ式シート(奥)
フィッティングボード(手前)



オストメイト対応流し台



子ども用小便器付きの個室
(3階女子トイレ)

○ 授乳室(1階)



授乳室があるので、乳児のいるお母さんも安心です。子ども連れでも、気軽に施設を利用させていただきたい気持ちが込められています。

○ 高さかかわる調理台(3階・調理室)



ハンドルを回して、高さを調整できます。車いす使用者はもちろん、長く立っているが大変な人も、いすに座って調理ができます。



心のユニバーサルデザインも大切です

ユニバーサルデザインには、まわりの人を思いやるやさしい心がけや行動も含まれます。施設を管理する職員はもちろん、利用者の一人ひとりが、思いやりの心(心のユニバーサルデザイン)を持てば、みんなが使いやすい施設になりますね。

『ハード(施設・設備)』+『ハート(思いやりの心)』で、みんなが使いやすい施設を目指していきましょう。

浜松市では、『思いやりの心が結ぶ優しいまち』の実現を基本理念とし、
ユニバーサルデザインによるまちづくりに取り組んでいます。

ユニバーサルデザインについてのお問い合わせは、下記窓口へどうぞ

☆浜松市 北区役所 区振興課

電話：053-523-1168 / FAX：053-523-1907
メール：n-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

☆浜松市役所 市民部 ユニバーサル社会・男女共同参画推進課

電話：053-457-2364 / FAX：053-457-2750
メール：ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp



浜松市のユニバーサルデザインシンボルマークです。